

行って来ました、岡山国際！（ドライバー大岩と）

去年から始まった 9 9 8 チャレンジに参戦する為に CSA・MINI998・1号車でテストを重ね、4月30日のミニデー998チャレンジでシェークダウンした2号車で行って来ました。



はっきり言って遠いです！が・ミニデーでは関西方面より大挙して遠征してきていたので、そんな事は言っていないで。

という訳で6月15日金曜日の夜中に出発～

今回は万全の体制で当日挑むために16日の午前中に岡山入りして、一日OFF・翌日の本戦に望むと言  
賢沢な日程、しかし到着前にエコノミー症候群になりそうだったので途中サービスエリアでコインシャ  
ーを使用・・・

岡山到着前に大会事務局でもあるバリーガレッジさんにご挨拶。幾度となく車両規定について問い合わせをさせて頂いたが、そのつど丁寧に答えて頂き感謝の意を伝える為・と言うのは表向きで、車両製作者もドライバーも初コースとなる岡山国際の攻略法を聞き出すのが本来の目的!?!・・・

一時間ほど諜報活動をした後、昼食をとる事に、聞けば・かの有名な「揖保の糸」の工場で見学しようめんと聞き、ナビに住所をインプット早速工場へGO～



そうめんの里なる看板を発見！かなり大きな駐車場で積載者も楽々入場。初めての流しそうめんに期待は膨らむ一方で野外の流しそうめん食事処へ。

AOKIの想像する流しそうめんは、竹筒のような物の中を上からそうめんが流れてきて箸ですくい食すというものだったが・・・

丸テーブルの上に小さな流れるプールがあり  
その中にそうめんを流してすくい取ると言う  
物だった。残りの運転はドライバー大岩に任  
せ、生ビールとそうめん、惣菜を頂く。

しかし混雑時など相席した場合自分のそうめ  
んだけきちんとつかめるのかは不明？？



ここから宿营地・湯郷までは一時間程度、15時には到着でそのままチェックIN～夕食までの3時間ほど爆睡・・・

夕食は贅沢に美作牛の会席コースをオーダー、これはレースで不甲斐ない成績の場合岡山にいい思い出がなくなるのを防ぐ為の保険のようなもの、多少の贅沢はお許しいただきたい。その後長旅で疲れた体をほぐす為入浴&マッサージを受けて、21時消灯。。

3時半起床・・・朝食用にと宿の方がおにぎりを握っておいてくれたので頂く。AOKIはここ数ヶ月前から初めて新たな趣味の為に早起が得意に、4時には身も心も全開！宿を出て途中コンビニに寄り5時には会場に到着。すでに入場待ちの列が出来ていたがその後すぐに入場が始まり、車両を搬入。

パドックに入ると998チャレンジ用のテントがずらり!?なんと参加者一台に1スパンのテントが割り当てられているではないか！重ね重ね運営する方たちの努力に感服。

予選は無難に3位と好位置、タイムもそこそこ出ていたのでドライバー大岩に1位の奪取とファステストラップをたたき出すように発破をかける。決勝までは時間が有ったので二人でお昼寝・・・

いよいよ決勝・ダミーグリットに付きスタートを待つ。前回の筑波DEチヨケンとは打って変わり落ち着いていられたのは内緒の話で。。

オープニングラップを3位で通過～3周目には二台を交わしてトップへ、その後一台がマシントラブルで脱落、完全に一騎打ち状態へ。相手はバリーガレージさんの「ホワイトボンバー&山根選手」ストレートでは互いにスリップを使い譲らない模様。親切丁寧なアナウンスで逐一状況は把握できるがいつもの事ながらピット前を通過する車を見て、残り周回数のみサインボードを出し続ける。一度は前に出られるがその後抜き返し、ファイナルラップでドライバー大岩渾身のアタック！！山根選手を多少突き放しファステストラップでチェッカー！今回はいい仕事しました。



予選 3位  
2分19秒392

決勝 1位  
ベストタイム  
2分18秒692  
\*ファステストラップ

再車検も問題なく終了。1位確定で後片付け、お世話になった方々に挨拶を済ませる。最後にバリーガレージの山崎さんに挨拶に行くと帰り際「また遊んでください」とお言葉を頂く。今回一番心に響いた言葉でした。

帰路～二時間ほどドライバー大岩の講釈を聞かされた後おやすみなさい。。。浜名湖インターではピンクのミニの木村さん・小菅さんと会い、しばし談笑。また一緒に遊びましょう。

ミニジャック 998 チャレンジを終えて・・・

初めての関西遠征でしたが、運営の方々、参加者、各ショップさんが暖かく迎えて入れていただけたことが心に残りました。とにかく皆さんフレンドリーで気兼ねなく声をかけていただきこの場を持ってお礼申し上げます。また自分自身イベントやミニに対する認識を少し向上させることが出来たような気がします。

また今回 998 車両についてお話できた、バリーガレージの山崎さん・ハヤシタイヤの林さん・GM の坂口さんや各車両のドライバーさん達ありがとうございました。車両作りで一番驚いたことは、作る人それぞれに持論があり、かつ作り方（走らせ方）がぜんぜん違うのに最終到達タイムが同じようになるという事！まだまだ AOKI の修行は続く のか？？

終わり。